

科目名	メディア2							年度	2024
英語科目名	Media 2							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	角田知義	教員の実務経験		有	実務経験の職種		クリエイティブ・ディレクター		
【科目の目的】 人と人との間に入り、人を繋げるコミュニケーション・ツールとしてのメディア。20世紀の間に大きな技術変化を遂げました。21世紀に入り本格的な情報化社会の到来と共にその役割は多岐にわたり、人の存在すらもメディアであると言われるようになってきました。21世紀の特色であるインターネット技術、デジタル技術は社会変化を起し、社会における情報の有り様も大きく変化させました。情報によって私たちの生活やスポーツとの社会的な関係に大きな影響力を持ったメディアの理解を深める事を目的とします。									
【科目の概要】 この授業では、前期の基礎知識から「スポーツとメディアと社会の関り」を中心に学ぶ事を目標とします。メディアを中心に置き、人間、スポーツ、文化、ビジネスの関係性を多元的に理解する事から始めます。そして現代社会におけるコミュニケーションにおいてメディアはどのような働きと役割を持つのかを理解出来しながら、現代メディアの理解を推し進め、スポーツのメッセージを通して社会に貢献できる活動を考えます。現在のマスメディアからパーソナルなメディアまで多様な現状と可能性の試みを参考にしながら、個人で活用できるメディアの構築方法の知識取得を目標とします。									
【到達目標】 到達目標A：「メディアとスポーツ」への社会的アプローチの理解 到達目標B：「2020東京オリンピック」で起きたメディアとスポーツへの評価の変化の理解 到達目標C：「メディアとスポーツ」ビジネス的なつながりの歴史の理解 到達目標D：メディアの使い方、情報発信するための基本的な準備の理解 到達目標E：現代社会が抱える問題に対してスポーツがメディアを通して訴えられる事の理解									
【授業の注意点】 日常生活で当たり前のように触れているメディアに対する視点を変える事が必要になります。視点を変えるという事は意識を変えないといけません。単なる批判、無責任な評論は思考の混乱を招くだけです。論理的、客観的にモノを見る目を養う事を重視します。授業中は集中してノートを取り、毎時間必ず「授業振り返りシート」を提出します。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標A	メディアとスポーツが抱える課題の多くを解決するには社会的な視点が必要なのを理解できる			メディアとスポーツ、現代社会のなかで共通の課題が有る事が理解できる				メディアとスポーツの共通の課題が理解できない	
到達目標B	コロナ禍で人の動きが規制され色々な問題が多発、開催と報道の評価が大きく変化した経緯を分析できる			コロナ禍の東京オリンピック、色々な問題が発生して評価が変わっている事を知っている				コロナ禍で東京オリンピックが開催されたのを知っているが、問題点を理解できない	
到達目標C	メディアとスポーツのビジネスモデルと物販などのビジネスモデルの違いを理解できる			メディアとスポーツのビジネス面での相互関係とその仕組みを理解できる				メディアによるスポーツの価値付けが理解できない	
到達目標D	メディアを使った情報発信に必要な手順と情報整理の要点が理解できる			情報発信のための手順が理解できる				情報発信のための段取りが理解できない	
到達目標E	現代社会の諸問題に対してスポーツを通して、または関連企業が提案、活動をしている内容を理解できる			現代社会の諸問題に対して、スポーツ関連企業が積極的に解決策を提案している事を理解できる				現代社会が持つ諸問題とスポーツの関係が理解できない	
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		メディア2			年度	2024
英語表記		Media 2			学期	後期
回	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	授業ガイダンス	「メディア」の概要振り返りと本授業の進め方ガイダンス、概要説明	1 授業ガイダンス	授業の目的、目標、進行方法の理解	2	
			2 言葉の復習と確認	メディアを学ぶ上で良く使われる言葉を理解する		
2	「メディアと社会」(1)	メディアとスポーツ、新型コロナウイルスの蔓延で変わってしまった日常で考えられた事	1 コロナ禍以降の社会	2020年、新型コロナ流行語の社会の変化を理解する	2	
			2 スポーツ観戦の変化	制限された社会における関わり方の変化を知る		
			3 メディアの役割	制限された社会でのメディアの役割り変化を知る		
3	「メディアと社会」(2)	メディアと社会の関係を社会的なアプローチで考え、その影響力の大きさを知る	1 社会学概要	社会変化を理解為に社会的アプローチを知る	2	
			2 社会学の持つ課題	現代社会の課題はスポーツも持っていることを理解する		
			3 メディアの存在	スポーツと社会とメディアのつながり方を理解する		
4	「メディアと社会」(3)	スポーツとメディアの歴史的關係(復習を兼ねて再確認)	1 ビジネスの面	スポーツ・ビジネスの成り立ちを理解する	2	
			2 旧メディアの変遷	新聞、ラジオ、TVはどの様にスポーツと繋がったのかを理解		
			3 私との関わり	スポーツとビジネス、私の経験から分析してみる		
5	「スポーツのメッセージ」(1)	スポーツはメディアを通してどんなメッセージを伝えようとしているのか	1 スポーツと文化	社会の中でスポーツは何を伝えようとしているのかを知る	2	
			2 ファンカルチャー	スポーツとメディアが共同で作り出すファン文化を知る		
			3 ファンの研究	ファンと言う集団の有り方を研究する方法を知る		
6	「スポーツのメッセージ」(2)	見る楽しみとしてのスポーツとマスメディアの役割	1 観る楽しみの構造	「観る楽しみ」はどの様に構成されてきたのかを知る	2	
			2 マーケティング	「観る楽しみ」をマーケティングに活用する手段を理解する		
			3 マーケとスポーツ	スポーツ・ビジネスの分野変化とメディア利用の変化を知る		
7	「スポーツのメッセージ」(3)	行う楽しみとしてのスポーツとメッセージ、どの様な方法でメディアを使っているか	1 行う楽しみの構造	テーマが「観るからする」へ、変わって行くことを理解する	2	
			2 「する」への変化	好きで、健康のために、流行でする構造を理解する		
			3 体験の促進	するスポーツへ誘うためのスポーツ・ツーリズムを知る		
8	「メディアを使うために」(1)	メディアリテラシーの活かし方=現代社会で私達がメディアで情報発信するメリット、デメリット	1 誘う情報発信	「+Q49情報を発信する立場」でリテラシーを再度考え直す	2	
			2 メディアリテラシー	メディア情報の分析、メディア情報の評価のされ方を知る		
			3 情報の信頼性	情報発信の信頼性とは何か、を理解する		
9	「メディアを使うために」(2)	伝達手段としての「メディア」、コミュニケーションとプロモーションの基本を知る	1 信頼性の理解	情報発信の信頼性を獲得するのに重要なポイントを理解する	2	
			2 心理学のアプローチ	メディア操作についての心理学的、脳科学的な分析を知る		
			3 メディア病	最近話題になるメディア病とは何かを知る		
10	「メディアを使うために」(3)	メディアのビジネス使用、その「目的」「方法」「手段」の時代変化を知る	1 現在の問題	メディアによってスポーツとの関りが変わった事を知る	2	
			2 様々な現れ	社会問題がスポーツの分野にも広がって来ている事理解する		
			3 ジェンダーの問題	スポーツとジェンダー問題をメディアの取り扱いで知る		
11	「メディアを使うために」(4)	情報発信のための取材、編集の方法からメディアの組み立てを考える	1 正しく発信する	情報を正しく発信するための心構えを知る	2	
			2 情報を整理する	正しく、本当に伝えたい事を熟考する事理解する		
			3 編集と言う技術	編集を通して初めて情報はまとまる事理解する		
12	スポーツとメディアへの理解(1)	私達の生活を取り巻く視覚メディアと私達のライフスタイルの關係	1 文字文化	紙メディアの時代の情報と生活を理解する	2	
			2 ディストピア	アナログメディアの時代の情報社会への不安		
			3 伝達障害	コミュニケーションの変質が起す困難な問題を理解する		
13	スポーツとメディアへの理解(2)	見る事「文字、絵、記号、漫画、映像、風景」でのメッセージの伝え方	1 何を見てきたのか	社会の中でスポーツに担わされたイメージを理解する	2	
			2 複製されるイメージ	小さな問題が炎上する時代、メディアの複製力理解する		
			3 視覚イメージ	何故、印象を良くするために努力が払われるのかを理解する		
14	スポーツとメディアへの理解(3)	21世紀型コミュニケーションの時代、私たちの身体性とメディアとメッセージの社会的関連	1 スポーツを描く	スポーツはメディアによってどのように描かれるか理解	2	
			2 東京オリンピック	1964年と2021年のイメージの差をメディアで知る		
			3 パラリンピック	英国チャンネル4のパラリンピック広報への挑戦を知る		
15	後期のまとめ	『まとめ』現代社会に向けてスポーツ企業出すメッセージ、メディアが担う役割を考える	1 社会へのメッセージ	スポーツはメディアを通して現代社会に何を伝えたのかを知る	2	
			2 メディアの力	メディアの力でスポーツを繁栄させる可能性を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等